



物理学第二教室 談話会

高エネルギー物理を進めた デジタルテクノロジーの 50 年

坂本 宏 氏

(東京大学素粒子物理国際研究センター教授)

日時:2018 年 6 月 28 日(木)

15:30 ~ 17:00

場所:理学研究科北棟第二講義室
(Room 363, Building north)

概要:

2012 年ヒッグス粒子の発見に至るなど、この 50 年間の高エネルギー物理の発展はめざましいものがある。それを支えた様々な技術の中でもデジタルテクノロジーの果たした役割は非常に大きい。講演者は大学院入学当初より今年の定年退職に至るまでその技術分野に継続して携わってきた。この機会に電子回路技術からコンピューティングに至るデジタルテクノロジーの進化と高エネルギー物理への寄与を概観し、これからの発展の方向を議論したい。

ちなみにここでの「50 年」は SN7400 シリーズのリリースが 1966 年であることや DEC の PDP-11 ファミリーのリリースが 1970 年であることを念頭に置いている。

講演者の大学院進学はそれより遅い 1977 年である。